

2024 年度 新人看護師教育プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標	1 社会人としての4つのマナーを身につけることができる 2 当院の理念や看護部の理念・方針を知る 3 自部署の特徴を把握できる 4 1日の業務の流れがわかる 5 入院患者の疾患・看護の理解を深める	1 指導のもと(重症患者以外)の担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 2 注射・内服のための確認作業が確実にできる 3 検査・処置・手術等の対応を指導者とともに実施できる 4 早番・遅番業務を理解し、指導のもと実施できる 5 21時までの、シャドー夜勤を2回実施して夜勤の流れを理解できる。	1 主体的に(重症患者以外)担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 2 複数の患者を受け持ち看護業務を行い、指導者に報告できる 3 指導のもと、予約入院(クリニカルパスを含む)患者の対応ができる 4 シャドー夜勤を6月下旬から実施し、夜勤業務の流れが理解できる	1 シャドー夜勤2回の実施し、夜勤業務が把握できる 2 転棟・退院時業務を理解し実施できる 3 シャドー・休日労働業務ができる 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる	1 習得基礎看護技術を一人で実施できる 2 指導者の見守りのもと夜勤業務ができる 3 指導者の見守りのもと休日労働業務ができる 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 担当患者のカンファレンスに参加し意見を述べることができる 3 指導のもと重症患者や急変時の対応経験ができる	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 各勤務において、担当患者のスケジュールが言える 3 スケジュールに沿った看護業務を実施する 4 スケジュール以外の想定外の事態が起きた場合や、経験のない業務発生時は、指導者に報告・相談し共に対応する	1 指導のもと受け持ち患者の全体像を捉え看護展開できる 2 受け持ち患者のニーズにあった看護展開ができたかを振り返ることができる 3 指導のもと受け持ち患者の看護要約の記載ができる 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる	1 12月までに到達目標に達していない項目を振り返り、達成に向けて取り組むことができる 1) 「ラダーレベル」評価表」に基づき、自己と指導者が評価し未達成項目を実施する 2 未達成項目は、目標達成するまで実施を繰り返す 2 チームメンバーとしての役割を果たすことができる 1) メンバースhipを理解する 2) チームメンバーと連携を図り、協働した業務を行う 3 チーム医療について多職種の役割を理解し、連携・協働することができる 1) 他職種の役割を理解する 2) 多職種とのコミュニケーションがとれる 3) チームメンバーとして多職種と連携・協働する 4 退院支援・退院調整等を含む意思決定支援を見学し、重要性を認識できる 1) 意思決定支援の場面に同席する 2) 意思決定支援に関する学習を深める	1 自己の課題を明確にし、2年目に向けて自己の目標設定ができる 1) 自己・他者評価を踏まえた自己の課題を明確にする 2) 看護師2年目に向けての心構えが言える		
行動目標	2 当院の理念や看護部の理念・方針を知る 1) 理念・方針の提示場所が言える 2) 理念・方針を知り、組織人として意識を持つ 3 病棟の機能と自部署の特徴を把握できる 1) 院内各部署の場所と役割を把握する 2) 自部署の配置図、備品等の場所がわかる 3) 自部署の特徴(科など)、役割が言える 4) 各種のマニュアル保管場所が言える 4 1日の業務の流れがわかる 1) 日勤業務の流れを把握する 2) 看護方式を理解する 3) 日勤業務の役割分担を理解する 4) 電子カルテにより患者情報を収集する 5) 看護記録について不明な点を問ける 6) 申し送り内容を理解できる 5 入院患者の疾患・看護の理解を深める 1) 自部署の入院患者の疾患を調べる 2) 疾患についての病態と看護を学習する	1 指導のもと(重症患者以外)の担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4月の研修で学んだ基礎看護技術を、指導のもとで安全・安楽に実施する 2) 基礎看護技術は何度も繰り返し習得する 3) 実施した看護技術は指導者に報告し、必要に応じて看護記録に残す 4) 実践する際は適宜コミュニケーションを取り理解を深め、信頼関係を構築する 2 注射・内服のための確認作業が確実にできる 1) 5Rが言える 2) 指導のもと3点認証を行う 3) 指導者と共に患者確認を行う 4) 薬剤と共に自己学習をする 3 検査・処置・手術等の対応を指導者とともに実施できる 1) 担当患者の検査・処置・手術等の準備や対応を指導者と共に実施する 2) 検査・処置・手術等について、指導者の看護記録の実施を確認する 3) 上記実施した内容について、自己学習する 4 早番・遅番業務を理解し、指導のもと実施できる 1) 早番・遅番業務を理解する 2) 早番・遅番業務を指導のもとで実施する 5 21時までの、シャドー夜勤を実施して夜勤の流れを理解できる。 1) 21時までの夜勤業務の流れがわかる	1 主体的に(重症患者以外)担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4～5月の研修で学んだ基礎看護技術を、安全・安楽に配慮し自ら実施する (未修得項目は習得指導のもと) 2) 実施した看護を記録に残し、指導者に報告する 2 複数の患者を受け持ち看護業務を行い、指導者に報告できる 1) 複数の担当患者情報を収集する 2) 担当患者の日勤スケジュールが言える 3) 計画されたスケジュールを実施し、看護を記録に残して指導者に報告する 4) スケジュールの変更が必要となった際には、指導者に報告・相談し対応する 3 指導のもと、予約入院(クリニカルパスを含む)患者の対応ができる 1) 指導のもと、予約入院を受ける(入院迎え、初リハビリ、書類基本情報聴取、指示受け、入院時カルテ記入、看護計画立案) 2) 対象患者の全体像を把握する 4 シャドー夜勤を6月下旬から実施し、夜勤業務の流れが理解できる 1) 夜勤業務の流れがわかる 2) 夜勤の役割分担がわかる 3) 慣れない夜勤に対応できるよう体調管理する	1 シャドー夜勤2回の実施し、夜勤業務が把握できる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施できる 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 2 転棟・退院時業務を理解し実施できる 1) 指導のもと退院準備と対応、退院指導、記録(看護計画査定等) 2) 指導のもと転棟患者を受け持つ(転棟準備と対応、申し送り等) 3 シャドー・休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 習得基礎看護技術を一人で実施できる 1) 修得基礎看護技術を安全・安楽に実施する 2) 未修得技術は、習得できるまで何回も繰り返す 2 指導者の見守りのもと夜勤業務ができる 1) 必要な情報収集を行う 2) ヌバ-業務を把握し、実施する 3 指導者の見守りのもと休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務を把握し、実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 担当患者のカンファレンスに参加し意見を述べることができる 1) 担当患者の各種カンファレンスに参加する 2) 担当患者の知れた情報について発言する 3) カンファレンス内容を看護記録に残す 3 指導のもと重症患者や急変時の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 急変時の対応について見直し、復習をして今後に生かす 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 各勤務において、担当患者のスケジュールが言える 3 スケジュールに沿った看護業務を実施する 4 スケジュール以外の想定外の事態が起きた場合や、経験のない業務発生時は、指導者に報告・相談し共に対応する	1 指導のもと受け持ち患者の全体像を捉え看護展開できる 2 受け持ち患者のニーズにあった看護展開ができたかを振り返ることができる 1) 受け持ち患者の看護について、毎日指導者と共に振り返りを行う 2) 振り返りをもとに看護計画を修正・展開する 3 指導のもと受け持ち患者の看護要約の記載ができる 1) 受け持ち患者の看護を振り返り、指導のもとに看護要約を記載する 2) 残された問題を明らかにし、継続看護に繋げる 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 緊急入院に必要な書類、流れを把握する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 12月までに到達目標に達していない項目を振り返り、達成に向けて取り組むことができる 1) 「ラダーレベル」評価表」に基づき、自己と指導者が評価し未達成項目を実施する 2 未達成項目は、目標達成するまで実施を繰り返す 2 チームメンバーとしての役割を果たすことができる 1) メンバースhipを理解する 2) チームメンバーと連携を図り、協働した業務を行う 3 チーム医療について多職種の役割を理解し、連携・協働することができる 1) 他職種の役割を理解する 2) 多職種とのコミュニケーションがとれる 3) チームメンバーとして多職種と連携・協働する 4 退院支援・退院調整等を含む意思決定支援を見学し、重要性を認識できる 1) 意思決定支援の場面に同席する 2) 意思決定支援に関する学習を深める	1 自己の課題を明確にし、2年目に向けて自己の目標設定ができる 1) 自己・他者評価を踏まえた自己の課題を明確にする 2) 看護師2年目に向けての心構えが言える		
目標	1 社会人としての4つのマナーを身につけることができる 1) 病院のルールや時間を厳守する ① 遅刻しない ② 守秘義務や就業規則を守る 2) 丁寧な言葉遣いをする ① 挨拶を励行する ② 相手と合った適切な言葉遣いをする 3) 清潔感のある身だしなみをする ① ユニフォームやシューズは清潔にする ② 相手と不快感を与えるような髪型や髪色にしない 4) 必要な報・連・相を行う 2 当院の理念や看護部の理念・方針を知る 1) 理念・方針の提示場所が言える 2) 理念・方針を知り、組織人として意識を持つ 3 病棟の機能と自部署の特徴を把握できる 1) 院内各部署の場所と役割を把握する 2) 自部署の配置図、備品等の場所がわかる 3) 自部署の特徴(科など)、役割が言える 4) 各種のマニュアル保管場所が言える 4 1日の業務の流れがわかる 1) 日勤業務の流れを把握する 2) 看護方式を理解する 3) 日勤業務の役割分担を理解する 4) 電子カルテにより患者情報を収集する 5) 看護記録について不明な点を問ける 6) 申し送り内容を理解できる 5 入院患者の疾患・看護の理解を深める 1) 自部署の入院患者の疾患を調べる 2) 疾患についての病態と看護を学習する	1 指導のもと(重症患者以外)の担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4月の研修で学んだ基礎看護技術を、指導のもとで安全・安楽に実施する 2) 基礎看護技術は何度も繰り返し習得する 3) 実施した看護技術は指導者に報告し、必要に応じて看護記録に残す 4) 実践する際は適宜コミュニケーションを取り理解を深め、信頼関係を構築する 2 注射・内服のための確認作業が確実にできる 1) 5Rが言える 2) 指導のもと3点認証を行う 3) 指導者と共に患者確認を行う 4) 薬剤と共に自己学習をする 3 検査・処置・手術等の対応を指導者とともに実施できる 1) 担当患者の検査・処置・処置・手術等の準備や対応を指導者と共に実施する 2) 検査・処置・手術等について、指導者の看護記録の実施を確認する 3) 上記実施した内容について、自己学習する 4 早番・遅番業務を理解し、指導のもと実施できる 1) 早番・遅番業務を理解する 2) 早番・遅番業務を指導のもとで実施する 5 21時までの、シャドー夜勤を実施して夜勤の流れを理解できる。 1) 21時までの夜勤業務の流れがわかる	1 主体的に(重症患者以外)担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4～5月の研修で学んだ基礎看護技術を、安全・安楽に配慮し自ら実施する (未修得項目は習得指導のもと) 2) 実施した看護を記録に残し、指導者に報告する 2 複数の患者を受け持ち看護業務を行い、指導者に報告できる 1) 複数の担当患者情報を収集する 2) 担当患者の日勤スケジュールが言える 3) 計画されたスケジュールを実施し、看護を記録に残して指導者に報告する 4) スケジュールの変更が必要となった際には、指導者に報告・相談し対応する 3 指導のもと、予約入院(クリニカルパスを含む)患者の対応ができる 1) 指導のもと、予約入院を受ける(入院迎え、初リハビリ、書類基本情報聴取、指示受け、入院時カルテ記入、看護計画立案) 2) 対象患者の全体像を把握する 4 シャドー夜勤を6月下旬から実施し、夜勤業務の流れが理解できる 1) 夜勤業務の流れがわかる 2) 夜勤の役割分担がわかる 3) 慣れない夜勤に対応できるよう体調管理する	1 シャドー夜勤2回の実施し、夜勤業務が把握できる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施できる 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 2 転棟・退院時業務を理解し実施できる 1) 指導のもと退院準備と対応、退院指導、記録(看護計画査定等) 2) 指導のもと転棟患者を受け持つ(転棟準備と対応、申し送り等) 3 シャドー・休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 習得基礎看護技術を一人で実施できる 1) 修得基礎看護技術を安全・安楽に実施する 2) 未修得技術は、習得できるまで何回も繰り返す 2 指導者の見守りのもと夜勤業務ができる 1) 必要な情報収集を行う 2) ヌバ-業務を把握し、実施する 3 指導者の見守りのもと休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務を把握し、実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 担当患者のカンファレンスに参加し意見を述べることができる 1) 担当患者の各種カンファレンスに参加する 2) 担当患者の知れた情報について発言する 3) カンファレンス内容を看護記録に残す 3 指導のもと重症患者や急変時の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 急変時の対応について見直し、復習をして今後に生かす 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 各勤務において、担当患者のスケジュールが言える 3 スケジュールに沿った看護業務を実施する 4 スケジュール以外の想定外の事態が起きた場合や、経験のない業務発生時は、指導者に報告・相談し共に対応する	1 指導のもと受け持ち患者の全体像を捉え看護展開できる 2 受け持ち患者のニーズにあった看護展開ができたかを振り返ることができる 1) 受け持ち患者の看護について、毎日指導者と共に振り返りを行う 2) 振り返りをもとに看護計画を修正・展開する 3 指導のもと受け持ち患者の看護要約の記載ができる 1) 受け持ち患者の看護を振り返り、指導のもとに看護要約を記載する 2) 残された問題を明らかにし、継続看護に繋げる 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 緊急入院に必要な書類、流れを把握する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 12月までに到達目標に達していない項目を振り返り、達成に向けて取り組むことができる 1) 「ラダーレベル」評価表」に基づき、自己と指導者が評価し未達成項目を実施する 2 未達成項目は、目標達成するまで実施を繰り返す 2 チームメンバーとしての役割を果たすことができる 1) メンバースhipを理解する 2) チームメンバーと連携を図り、協働した業務を行う 3 チーム医療について多職種の役割を理解し、連携・協働することができる 1) 他職種の役割を理解する 2) 多職種とのコミュニケーションがとれる 3) チームメンバーとして多職種と連携・協働する 4 退院支援・退院調整等を含む意思決定支援を見学し、重要性を認識できる 1) 意思決定支援の場面に同席する 2) 意思決定支援に関する学習を深める	1 自己の課題を明確にし、2年目に向けて自己の目標設定ができる 1) 自己・他者評価を踏まえた自己の課題を明確にする 2) 看護師2年目に向けての心構えが言える		
到達目標	1 社会人としての4つのマナーを身につけることができる 1) 病院のルールや時間を厳守する ① 遅刻しない ② 守秘義務や就業規則を守る 2) 丁寧な言葉遣いをする ① 挨拶を励行する ② 相手と合った適切な言葉遣いをする 3) 清潔感のある身だしなみをする ① ユニフォームやシューズは清潔にする ② 相手と不快感を与えるような髪型や髪色にしない 4) 必要な報・連・相を行う 2 当院の理念や看護部の理念・方針を知る 1) 理念・方針の提示場所が言える 2) 理念・方針を知り、組織人として意識を持つ 3 病棟の機能と自部署の特徴を把握できる 1) 院内各部署の場所と役割を把握する 2) 自部署の配置図、備品等の場所がわかる 3) 自部署の特徴(科など)、役割が言える 4) 各種のマニュアル保管場所が言える 4 1日の業務の流れがわかる 1) 日勤業務の流れを把握する 2) 看護方式を理解する 3) 日勤業務の役割分担を理解する 4) 電子カルテにより患者情報を収集する 5) 看護記録について不明な点を問ける 6) 申し送り内容を理解できる 5 入院患者の疾患・看護の理解を深める 1) 自部署の入院患者の疾患を調べる 2) 疾患についての病態と看護を学習する	1 指導のもと(重症患者以外)の担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4月の研修で学んだ基礎看護技術を、指導のもとで安全・安楽に実施する 2) 基礎看護技術は何度も繰り返し習得する 3) 実施した看護技術は指導者に報告し、必要に応じて看護記録に残す 4) 実践する際は適宜コミュニケーションを取り理解を深め、信頼関係を構築する 2 注射・内服のための確認作業が確実にできる 1) 5Rが言える 2) 指導のもと3点認証を行う 3) 指導者と共に患者確認を行う 4) 薬剤と共に自己学習をする 3 検査・処置・手術等の対応を指導者とともに実施できる 1) 担当患者の検査・処置・処置・手術等の準備や対応を指導者と共に実施する 2) 検査・処置・手術等について、指導者の看護記録の実施を確認する 3) 上記実施した内容について、自己学習する 4 早番・遅番業務を理解し、指導のもと実施できる 1) 早番・遅番業務を理解する 2) 早番・遅番業務を指導のもとで実施する 5 21時までの、シャドー夜勤を実施して夜勤の流れを理解できる。 1) 21時までの夜勤業務の流れがわかる	1 主体的に(重症患者以外)担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4～5月の研修で学んだ基礎看護技術を、安全・安楽に配慮し自ら実施する (未修得項目は習得指導のもと) 2) 実施した看護を記録に残し、指導者に報告する 2 複数の患者を受け持ち看護業務を行い、指導者に報告できる 1) 複数の担当患者情報を収集する 2) 担当患者の日勤スケジュールが言える 3) 計画されたスケジュールを実施し、看護を記録に残して指導者に報告する 4) スケジュールの変更が必要となった際には、指導者に報告・相談し対応する 3 指導のもと、予約入院(クリニカルパスを含む)患者の対応ができる 1) 指導のもと、予約入院を受ける(入院迎え、初リハビリ、書類基本情報聴取、指示受け、入院時カルテ記入、看護計画立案) 2) 対象患者の全体像を把握する 4 シャドー夜勤を6月下旬から実施し、夜勤業務の流れが理解できる 1) 夜勤業務の流れがわかる 2) 夜勤の役割分担がわかる 3) 慣れない夜勤に対応できるよう体調管理する	1 シャドー夜勤2回の実施し、夜勤業務が把握できる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施できる 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 2 転棟・退院時業務を理解し実施できる 1) 指導のもと退院準備と対応、退院指導、記録(看護計画査定等) 2) 指導のもと転棟患者を受け持つ(転棟準備と対応、申し送り等) 3 シャドー・休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 習得基礎看護技術を一人で実施できる 1) 修得基礎看護技術を安全・安楽に実施する 2) 未修得技術は、習得できるまで何回も繰り返す 2 指導者の見守りのもと夜勤業務ができる 1) 必要な情報収集を行う 2) ヌバ-業務を把握し、実施する 3 指導者の見守りのもと休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務を把握し、実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 担当患者のカンファレンスに参加し意見を述べることができる 1) 担当患者の各種カンファレンスに参加する 2) 担当患者の知れた情報について発言する 3) カンファレンス内容を看護記録に残す 3 指導のもと重症患者や急変時の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 急変時の対応について見直し、復習をして今後に生かす 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 各勤務において、担当患者のスケジュールが言える 3 スケジュールに沿った看護業務を実施する 4 スケジュール以外の想定外の事態が起きた場合や、経験のない業務発生時は、指導者に報告・相談し共に対応する	1 指導のもと受け持ち患者の全体像を捉え看護展開できる 2 受け持ち患者のニーズにあった看護展開ができたかを振り返ることができる 1) 受け持ち患者の看護について、毎日指導者と共に振り返りを行う 2) 振り返りをもとに看護計画を修正・展開する 3 指導のもと受け持ち患者の看護要約の記載ができる 1) 受け持ち患者の看護を振り返り、指導のもとに看護要約を記載する 2) 残された問題を明らかにし、継続看護に繋げる 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 緊急入院に必要な書類、流れを把握する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 12月までに到達目標に達していない項目を振り返り、達成に向けて取り組むことができる 1) 「ラダーレベル」評価表」に基づき、自己と指導者が評価し未達成項目を実施する 2 未達成項目は、目標達成するまで実施を繰り返す 2 チームメンバーとしての役割を果たすことができる 1) メンバースhipを理解する 2) チームメンバーと連携を図り、協働した業務を行う 3 チーム医療について多職種の役割を理解し、連携・協働することができる 1) 他職種の役割を理解する 2) 多職種とのコミュニケーションがとれる 3) チームメンバーとして多職種と連携・協働する 4 退院支援・退院調整等を含む意思決定支援を見学し、重要性を認識できる 1) 意思決定支援の場面に同席する 2) 意思決定支援に関する学習を深める	1 自己の課題を明確にし、2年目に向けて自己の目標設定ができる 1) 自己・他者評価を踏まえた自己の課題を明確にする 2) 看護師2年目に向けての心構えが言える		
到達目標	1 社会人としての4つのマナーを身につけることができる 1) 病院のルールや時間を厳守する ① 遅刻しない ② 守秘義務や就業規則を守る 2) 丁寧な言葉遣いをする ① 挨拶を励行する ② 相手と合った適切な言葉遣いをする 3) 清潔感のある身だしなみをする ① ユニフォームやシューズは清潔にする ② 相手と不快感を与えるような髪型や髪色にしない 4) 必要な報・連・相を行う 2 当院の理念や看護部の理念・方針を知る 1) 理念・方針の提示場所が言える 2) 理念・方針を知り、組織人として意識を持つ 3 病棟の機能と自部署の特徴を把握できる 1) 院内各部署の場所と役割を把握する 2) 自部署の配置図、備品等の場所がわかる 3) 自部署の特徴(科など)、役割が言える 4) 各種のマニュアル保管場所が言える 4 1日の業務の流れがわかる 1) 日勤業務の流れを把握する 2) 看護方式を理解する 3) 日勤業務の役割分担を理解する 4) 電子カルテにより患者情報を収集する 5) 看護記録について不明な点を問ける 6) 申し送り内容を理解できる 5 入院患者の疾患・看護の理解を深める 1) 自部署の入院患者の疾患を調べる 2) 疾患についての病態と看護を学習する	1 指導のもと(重症患者以外)の担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4月の研修で学んだ基礎看護技術を、指導のもとで安全・安楽に実施する 2) 基礎看護技術は何度も繰り返し習得する 3) 実施した看護技術は指導者に報告し、必要に応じて看護記録に残す 4) 実践する際は適宜コミュニケーションを取り理解を深め、信頼関係を構築する 2 注射・内服のための確認作業が確実にできる 1) 5Rが言える 2) 指導のもと3点認証を行う 3) 指導者と共に患者確認を行う 4) 薬剤と共に自己学習をする 3 検査・処置・手術等の対応を指導者とともに実施できる 1) 担当患者の検査・処置・処置・手術等の準備や対応を指導者と共に実施する 2) 検査・処置・手術等について、指導者の看護記録の実施を確認する 3) 上記実施した内容について、自己学習する 4 早番・遅番業務を理解し、指導のもと実施できる 1) 早番・遅番業務を理解する 2) 早番・遅番業務を指導のもとで実施する 5 21時までの、シャドー夜勤を実施して夜勤の流れを理解できる。 1) 21時までの夜勤業務の流れがわかる	1 主体的に(重症患者以外)担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4～5月の研修で学んだ基礎看護技術を、安全・安楽に配慮し自ら実施する (未修得項目は習得指導のもと) 2) 実施した看護を記録に残し、指導者に報告する 2 複数の患者を受け持ち看護業務を行い、指導者に報告できる 1) 複数の担当患者情報を収集する 2) 担当患者の日勤スケジュールが言える 3) 計画されたスケジュールを実施し、看護を記録に残して指導者に報告する 4) スケジュールの変更が必要となった際には、指導者に報告・相談し対応する 3 指導のもと、予約入院(クリニカルパスを含む)患者の対応ができる 1) 指導のもと、予約入院を受ける(入院迎え、初リハビリ、書類基本情報聴取、指示受け、入院時カルテ記入、看護計画立案) 2) 対象患者の全体像を把握する 4 シャドー夜勤を6月下旬から実施し、夜勤業務の流れが理解できる 1) 夜勤業務の流れがわかる 2) 夜勤の役割分担がわかる 3) 慣れない夜勤に対応できるよう体調管理する	1 シャドー夜勤2回の実施し、夜勤業務が把握できる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施できる 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 2 転棟・退院時業務を理解し実施できる 1) 指導のもと退院準備と対応、退院指導、記録(看護計画査定等) 2) 指導のもと転棟患者を受け持つ(転棟準備と対応、申し送り等) 3 シャドー・休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 習得基礎看護技術を一人で実施できる 1) 修得基礎看護技術を安全・安楽に実施する 2) 未修得技術は、習得できるまで何回も繰り返す 2 指導者の見守りのもと夜勤業務ができる 1) 必要な情報収集を行う 2) ヌバ-業務を把握し、実施する 3 指導者の見守りのもと休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務を把握し、実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 担当患者のカンファレンスに参加し意見を述べることができる 1) 担当患者の各種カンファレンスに参加する 2) 担当患者の知れた情報について発言する 3) カンファレンス内容を看護記録に残す 3 指導のもと重症患者や急変時の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 急変時の対応について見直し、復習をして今後に生かす 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 各勤務において、担当患者のスケジュールが言える 3 スケジュールに沿った看護業務を実施する 4 スケジュール以外の想定外の事態が起きた場合や、経験のない業務発生時は、指導者に報告・相談し共に対応する	1 指導のもと受け持ち患者の全体像を捉え看護展開できる 2 受け持ち患者のニーズにあった看護展開ができたかを振り返ることができる 1) 受け持ち患者の看護について、毎日指導者と共に振り返りを行う 2) 振り返りをもとに看護計画を修正・展開する 3 指導のもと受け持ち患者の看護要約の記載ができる 1) 受け持ち患者の看護を振り返り、指導のもとに看護要約を記載する 2) 残された問題を明らかにし、継続看護に繋げる 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 緊急入院に必要な書類、流れを把握する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 12月までに到達目標に達していない項目を振り返り、達成に向けて取り組むことができる 1) 「ラダーレベル」評価表」に基づき、自己と指導者が評価し未達成項目を実施する 2 未達成項目は、目標達成するまで実施を繰り返す 2 チームメンバーとしての役割を果たすことができる 1) メンバースhipを理解する 2) チームメンバーと連携を図り、協働した業務を行う 3 チーム医療について多職種の役割を理解し、連携・協働することができる 1) 他職種の役割を理解する 2) 多職種とのコミュニケーションがとれる 3) チームメンバーとして多職種と連携・協働する 4 退院支援・退院調整等を含む意思決定支援を見学し、重要性を認識できる 1) 意思決定支援の場面に同席する 2) 意思決定支援に関する学習を深める	1 自己の課題を明確にし、2年目に向けて自己の目標設定ができる 1) 自己・他者評価を踏まえた自己の課題を明確にする 2) 看護師2年目に向けての心構えが言える		
到達目標	1 社会人としての4つのマナーを身につけることができる 1) 病院のルールや時間を厳守する ① 遅刻しない ② 守秘義務や就業規則を守る 2) 丁寧な言葉遣いをする ① 挨拶を励行する ② 相手と合った適切な言葉遣いをする 3) 清潔感のある身だしなみをする ① ユニフォームやシューズは清潔にする ② 相手と不快感を与えるような髪型や髪色にしない 4) 必要な報・連・相を行う 2 当院の理念や看護部の理念・方針を知る 1) 理念・方針の提示場所が言える 2) 理念・方針を知り、組織人として意識を持つ 3 病棟の機能と自部署の特徴を把握できる 1) 院内各部署の場所と役割を把握する 2) 自部署の配置図、備品等の場所がわかる 3) 自部署の特徴(科など)、役割が言える 4) 各種のマニュアル保管場所が言える 4 1日の業務の流れがわかる 1) 日勤業務の流れを把握する 2) 看護方式を理解する 3) 日勤業務の役割分担を理解する 4) 電子カルテにより患者情報を収集する 5) 看護記録について不明な点を問ける 6) 申し送り内容を理解できる 5 入院患者の疾患・看護の理解を深める 1) 自部署の入院患者の疾患を調べる 2) 疾患についての病態と看護を学習する	1 指導のもと(重症患者以外)の担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4月の研修で学んだ基礎看護技術を、指導のもとで安全・安楽に実施する 2) 基礎看護技術は何度も繰り返し習得する 3) 実施した看護技術は指導者に報告し、必要に応じて看護記録に残す 4) 実践する際は適宜コミュニケーションを取り理解を深め、信頼関係を構築する 2 注射・内服のための確認作業が確実にできる 1) 5Rが言える 2) 指導のもと3点認証を行う 3) 指導者と共に患者確認を行う 4) 薬剤と共に自己学習をする 3 検査・処置・手術等の対応を指導者とともに実施できる 1) 担当患者の検査・処置・処置・手術等の準備や対応を指導者と共に実施する 2) 検査・処置・手術等について、指導者の看護記録の実施を確認する 3) 上記実施した内容について、自己学習する 4 早番・遅番業務を理解し、指導のもと実施できる 1) 早番・遅番業務を理解する 2) 早番・遅番業務を指導のもとで実施する 5 21時までの、シャドー夜勤を実施して夜勤の流れを理解できる。 1) 21時までの夜勤業務の流れがわかる	1 主体的に(重症患者以外)担当患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 1) 4～5月の研修で学んだ基礎看護技術を、安全・安楽に配慮し自ら実施する (未修得項目は習得指導のもと) 2) 実施した看護を記録に残し、指導者に報告する 2 複数の患者を受け持ち看護業務を行い、指導者に報告できる 1) 複数の担当患者情報を収集する 2) 担当患者の日勤スケジュールが言える 3) 計画されたスケジュールを実施し、看護を記録に残して指導者に報告する 4) スケジュールの変更が必要となった際には、指導者に報告・相談し対応する 3 指導のもと、予約入院(クリニカルパスを含む)患者の対応ができる 1) 指導のもと、予約入院を受ける(入院迎え、初リハビリ、書類基本情報聴取、指示受け、入院時カルテ記入、看護計画立案) 2) 対象患者の全体像を把握する 4 シャドー夜勤を6月下旬から実施し、夜勤業務の流れが理解できる 1) 夜勤業務の流れがわかる 2) 夜勤の役割分担がわかる 3) 慣れない夜勤に対応できるよう体調管理する	1 シャドー夜勤2回の実施し、夜勤業務が把握できる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施できる 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 2 転棟・退院時業務を理解し実施できる 1) 指導のもと退院準備と対応、退院指導、記録(看護計画査定等) 2) 指導のもと転棟患者を受け持つ(転棟準備と対応、申し送り等) 3 シャドー・休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務が言える 2) 指導のもと転棟・退院時業務を理解し実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 習得基礎看護技術を一人で実施できる 1) 修得基礎看護技術を安全・安楽に実施する 2) 未修得技術は、習得できるまで何回も繰り返す 2 指導者の見守りのもと夜勤業務ができる 1) 必要な情報収集を行う 2) ヌバ-業務を把握し、実施する 3 指導者の見守りのもと休日労働業務ができる 1) ヌバ-業務を把握し、実施する 3) 実施内容をリーダーに報告、記録する 4 複数の担当患者の1日のスケジュールを優先順位を考えた主体的に実施できる 1) 複数の患者をもち、一人ひとりのスケジュールが言える 2) 各スケジュールのうちの、優先順位が言える 3) 優先順位に沿った行動をして時間管理をする 4) 実施した看護を記録に残す 5) 必要に応じて指導者に相談し、指導者に最終報告する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 担当患者のカンファレンスに参加し意見を述べることができる 1) 担当患者の各種カンファレンスに参加する 2) 担当患者の知れた情報について発言する 3) カンファレンス内容を看護記録に残す 3 指導のもと重症患者や急変時の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 急変時の対応について見直し、復習をして今後に生かす 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 重症患者の看護を指導者とともに実施する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 平日労働業務・休日業務・夜間業務において、担当患者のスケジュールにそった看護が一人で行える 2 各勤務において、担当患者のスケジュールが言える 3 スケジュールに沿った看護業務を実施する 4 スケジュール以外の想定外の事態が起きた場合や、経験のない業務発生時は、指導者に報告・相談し共に対応する	1 指導のもと受け持ち患者の全体像を捉え看護展開できる 2 受け持ち患者のニーズにあった看護展開ができたかを振り返ることができる 1) 受け持ち患者の看護について、毎日指導者と共に振り返りを行う 2) 振り返りをもとに看護計画を修正・展開する 3 指導のもと受け持ち患者の看護要約の記載ができる 1) 受け持ち患者の看護を振り返り、指導のもとに看護要約を記載する 2) 残された問題を明らかにし、継続看護に繋げる 4 指導のもと緊急入院の対応経験ができる 1) 緊急入院に必要な書類、流れを把握する 2) 緊急入院を指導のもとで対応する	1 12月までに到達目標に達していない項目を振り返り、達成に向けて取り組むことができる 1) 「ラダーレベル」評価表」に基づき、自己と指導者が評価し未達成項目を実施する 2 未達成項目は、目標達成するまで実施を繰り返す 2 チームメンバーとしての役割を果たすことができる 1) メンバースhipを理解する 2) チームメンバーと連携を図り、協働した業務を行う 3 チーム医療について多職種の役割を理解し、連携・協働することができる 1) 他職種の役割を理解する 2) 多職種とのコミュニケーションがとれる 3) チームメンバーとして多職種と連携・協働する 4 退院支援・退院調整等を含む意思決定支援を見学し、重要性を認識できる 1) 意思決定支援の場面に同席する 2) 意思決定支援に関する学習を深める	1 自己の課題を明確にし、2年目に向けて自己の目標設定ができる 1) 自己・他者評価を踏まえた自己の課題を明確にする 2) 看護師2年目に向けての心構えが言える		
到達目標	1 社会人としての4つのマナーを身につけることができる 1) 病院のルールや時間を厳守する ① 遅刻しない ② 守秘義務や就業規則を守る 2) 丁寧な言葉遣いをする ① 挨拶を励行する ② 相手と合った適切な言葉遣いをする 3) 清潔感のある身だしなみをする ① ユニフォームやシューズは清潔にする ② 相手と不快感を与えるような髪型や髪色にしない 4) 必要な報・連・相を行う 2 当院の理念や看護部の理念・方針を知る 1) 理念・方針の提示場所が言える 2) 理念・方針を知り、組織人として意識を持つ 3 病棟の機能と自部署の特徴を把握できる 1) 院内各部署の場所と役割を把握する 2) 自部署の配置図、備品等の場所がわかる 3) 自部署の特徴(科など)、役割が言える 4) 各種のマニュアル保管場所が言える 4 1日の業務の流れがわかる 1) 日勤業務の流れを把握する 2) 看護方式を理解する 3) 日勤業務の役割分担を理解する 4) 電子カルテにより患者情報を収集する 5) 看護記録について不明な点を問ける 6) 申し送り内容を理解できる 5 入院患者の疾患・看護の理解を深める 1) 自部署の入院患者											

